

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 憩いの家作成日: 令和 2 年 1 月 24 日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組み	会議のメンバーが固定化して、内容もホームの報告や質問に対する答弁が中心になっているので、新しい参加委員を増員し、会議が充実した内容になるように議題や内容を検討し、参加委員が会議に魅力を感じて、参加したくなる運営推進会議を目指していく。	複数の民生委員や地域で活動している有識者、知見者等に参加を要請し、意見や要望、地域の問題等を話し合い、解決に向けて取り組み、ホームの発展だけでなく、地域貢献に繋がる会議を目指していく。	12ヶ月
2	37	災害対策	年2回避難訓練を行い、昼夜想定で実施しているが、職員の中には訓練に参加していない時も多く、非常時に冷静に行動出来るかが心配なので、訓練を頻繁に行える体制を整えていく。	職員2名で職員と利用者役に分かれ、避難場所を特定して目標タイムを設定し、夜間想定 of 訓練を行い、夜勤者が自信をつけるまで訓練していく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。